

事業場紹介

広島県は古くからの和牛の産地。穏やかな気候や風土に恵まれ、中国山地のやさしい山肌の続く地域は、広大な山地、豊富な草々といった恵まれた放牧環境が、素朴で強健な、しかも、穏やかな性質をもった広島牛を育んできました。また、生産農家はまるで家族の一員のように二頭二頭大切に愛情深く牛を飼育し、良質なひろしま牛を育てています。このような伝統のなかで、三次家畜市場のせり市には、全国各地から仲買人が訪れ、賑わっています。

12月19日に開催された子牛のせり市には、広島県内はもと



三次家畜市場



三次家畜市場
岩見啓三場長

家畜市場の効率的な運営のため、体制整備に取り組みます。また、近年、広島県の系統の牛が少なくなりつつあり、産地が生き残るには、広島県の希少系統の牛「勝白」「原平茂」の2頭を中心とした後継牛を大切に育てていかなければと思っています。

より全国から約1000人の購買者が訪れ、約3000頭の子牛を競り落とししました。県内購買者の導入意欲も強く、その結果、

551千円と三次家畜市場最高値を更新し、最近の高値基調を引き継ぎました。



子牛せり市
レポート
(平成18年12月19日)



1



3



5



7



2



4



6



8

- (1) せりが始まる30分前、下見と呼ばれるチェックが行われます。購買者は名簿を見ながら実際にせりにかけられる子牛を見てまわります。短時間にお目当ての子牛を確認していきます。
- (2) 午前9時30分、せりが始まりました。子牛は滑車のついたレールに沿って1頭ずつ引き出され、せられていきます。
- (3) せり人の掛け声により、購買者は手元のボタンを押して購買の意思表示をし、最後の1人になると電光掲示板に落札金額が掲示されます。せりは自動電子化。つぎつぎと手際よくせり進みます。
- (4) 生産者は最後の最後まで、子牛に磨きをかけて世話に余念がありません。
- (5) 落札された子牛に疫病予防の注射。あまりの痛さに暴れる子牛も…。
- (6) 精算もパソコンで即座に精算。
- (7) せりが終わると購買者は精算窓口で先に預けた保証金と、代金を精算します。
- (8) 広島牛生産履歴証明書。生産者から購買者へ渡されます。

■三次家畜市場の概要



- 設立年月：昭和54年6月30日
- 市場開設：子牛市場 年10回(H17年度3,170頭)
一般市場 毎週木曜日 年50回
(H17年度12,963頭)
- 敷地面積：35,573㎡
- 牛せり場：210席
- 牛繋留場：800頭収容
- 住所：三次市西酒屋町大久保511
- 電話：0824-62-3147
- F A X：0824-62-0486